

令和元年度 第3回宮崎市子ども・子育て会議 議事要旨

令和元年 12月24日(火) 10:00～

宮崎市民プラザ 4階 ギャラリー(1)

1. 福祉部長挨拶

2. 議事

(1) 計画推進部会の報告(事務局説明:子育て支援課)

- ・資料 1 「第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン」骨子(案)についての説明
- ・資料 2 「第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン」骨子(案)の説明

【意見・質疑】

委員 「推進施策3-1」について、学校に通っている子どもが前提となっていますが、不登校やひきこもりの子どもたちの居場所の確保という視点は入っているのでしょうか。教育と福祉と家庭の連携が、必要だと思います。

事務局 現段階では、具体的な施策がプランには入っていません。学校教育課で教育支援教室として不登校やひきこもりの子どもたちの居場所を確保し、主に生活リズムを整えたり、学校へ戻れるような雰囲気づくりに努めています。

委員 県の調査によると、不登校からひきこもりになる率が高くなっているようです。教育と福祉と家庭が連携することが、必要だと思います。

【結 果】承認

(2) 教育・保育推進部会の報告(事務局説明:保育幼稚園課)

- ・資料4-1 教育・保育提供区域の見直しについての説明
- ・資料4-2 区域割変更案の説明
- ・資料 5 第二期プランにおける認定子ども園の認可・認定方針についての説明
- ・資料6-1 令和元年度 教育・保育施設の利用定員設定見込みの説明
- ・資料6-2 令和2年4月の教育・保育施設の施設数及び定員(見込み)の説明

【意見・質疑】なし

【結 果】承認

3. 説明

- ・資料 7 「第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン」素案の説明
- ・資料 8 「第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン」(推進施策) 主要な取組と指標の説明
(事務局説明:子育て支援課)

【意見・質疑】

委員 市民意識調査について、調査の概要として、小学校入学前児童 5,000 票、小学生 3,000 票を配付したとありますが、調査対象者へは、どのような形で配付したのでしょうか。

事務局 無作為抽出により抽出した対象世帯宛て、郵送で調査票を配付し、返信用封筒により回収しました。

委員 「推進施策 5-1 子どもの貧困対策の推進」について、「主要な取組」の「④つながり・見守りの仕組みの充実」の②に“地域や家庭の教育力の向上を図ります。”とあるが具体的にどのようなものが当てはまるのでしょうか。

事務局 小中学校と地域や家庭との連携を図るような取組をしていきたいと考えています。

委員 「推進施策の目標値」について、国ではスクールソーシャルワーカー（SSW）を増やす方向となっておりますが、SSW が少ないと思います。SSW の人数を増やす目標にならないでしょうか。

事務局 SSW は今年度増やして 4 名配置しています。きめ細やかな対応ができるようにしていきたいと思っています。

この場で即答はできませんが、体制強化をするわかりやすい指標を設定するなどして、前向きに点検評価できるような指標の検討をしていきたいと思っています。

委員 「推進施策 5-1 子どもの貧困対策の推進」の「主要な取組－④つながり・見守りの仕組みの充実」について、①で“地域の居場所となる子ども食堂を応援するため…”とありますが、居場所が子ども食堂になる理由は何でしょうか。

事務局 子ども食堂に関しては、届け出の義務がなくボランティアの方々が運営しているところです。貧困だけでなく地域の居場所として数を増やしていきたいと考えています。地域福祉計画においても令和 5 年度までに 22 地域自治区すべてに子ども食堂ができるよう応援をしていく目標としています。ゆくゆくは小学校区に 1 つずつ子ども食堂があるというぐらいまで広げていきたいと思いますが、まずは数を増やし、貧困対策、虐待未然防止策になるように目標を設定しているところです。

委員 「子どもとメディア」について、市民意識調査の結果が掲載されているが、調査結果だけでなく、メディアとの接触が子どもに与える影響などの課題も含めて、もう少し書き込みをしていただけるとよいと思います。

事務局 スマートフォンの影響については、新聞等の報道にもあるので、もう少し丁寧に書き込みをしたいと思います。

4. 閉会

以 上